

1. 本園の教育目標

心ゆたかに たくましく

・いきいきと楽しく遊べる環境をつくる。・心身ともにたくましい子供を育てる。・ゆたかな感性をもち、のびのびと表現する子供を育てる。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- ① 努力目標「友達っていいな 幼稚園だいすき」～安心して自分の思いを伝え合えるクラスをめざして～の達成に向けて努める。担任教諭の園内研修を行う。
- ② 幼児理解に努め一人ひとりの特性を知り、特別支援コーディネーターを中心に支援方法を考える。
- ③ 安全管理体制を確立する。行事や参観などを行う時、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について考える。また、避難訓練等の年間計画を立て、様々な場面を想定した訓練を行う。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
① 教育課程の編成	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標や努力目標を意識した保育を進めるにあたり、園内研修を通して自身の保育の振り返りや見直しをすることができた。また、子供の姿に寄り添った保育活動を行うことができた。</li> <li>・幼稚園教育要領に基づき、子供の主体性を大切にした保育の進め方や、適切な援助について考えた。</li> <li>・全職員が、吹田市の幼児教育研究会の人間関係部会に参加し、努力目標を意識しながら一人ひとりが安心して園生活を送り、互いを認め合えるクラスづくりをめざした実践交流をする中で、自身の保育活動に活かすことができた。</li> </ul>
② 特別支援教育の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの特性や課題について話し合い、個々に応じた援助の工夫に取り組んだ。個々の姿を伝え合う機会を多く設け、共通理解をすることができた。</li> <li>・指導計画で考えた手立てを意識して支援を行うことができた。支援方法を見直す時間を設けて考え直すことに努めた。</li> </ul>
③ 安全管理体制の確立	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いの徹底や蜜を避ける行事のもち方、食事の方法、消毒や清掃などの感染防止対策を意識した保育に努めた。また、保護者にも送り迎えの際にアルコール消毒を行うよう周知した。</li> <li>・様々な事態を想定した避難訓練を実施し、園児の安全確保に努めた。</li> <li>・安全対策受付員が、正門近辺を離れる時は正門の施錠を徹底し、保護者には、出入りする時の正門の掛け金を全て掛けることを周知した。</li> </ul>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努力目標や幼稚園教育要領を意識した園内研修を実施することで、職員との研究討議を通して自身の資質向上や、幼児理解などの自己研鑽に努めた。</li> <li>・日々の保育を振り返る時に支援が必要な園児の姿を話せる機会を設け、個々に応じた具体的な手立てを考える。</li> <li>・今年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について、重点的に園児の安全に対する意識や習慣が身に付くよう努めたが、地震等の予測が困難な自然災害については、再度検討する必要がある。</li> </ul>

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
教育課程の編成	幼稚園教育要領を常に意識し、子供が興味や関心をもって自ら考えて行動できるような主体性を大切にした保育に取り組む。
幼小中高との交流 子育て支援活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でも可能な交流方法を考え、隣接する小、中学校や吹田東高校との連携を図る。</li> <li>・感染防止対策や人数制限を行いながら、地域の未就園児保育の実施や園行事の参加に呼びかけたり、子育て支援関係機関連絡会議に参加したり、子育て支援活動の充実を図る。</li> </ul>
安全管理体制の強化	一時預かり事業時の安全管理体制について、預かり保育の指導員と連携を取り、緊急時に備えて避難訓練等を計画し、実施できるようにする。

\*3.4 の評価結果の表示方法

A：十分達成されている      B：達成されている      C：取り組まれているが成果が十分ではない      D：取り組みが不十分である